

平成27年島根大学大学院

教育学研究科入試問題（I期）

《教育実践開発専攻 発達臨床コース》

専門科目（出題意図）

問題1. 発達障害およびその傾向のある子どもにおいて一貫的支援が必須であるが、本問題は、それを可能にする教育学・教育課程・指導法的知識について、特に幼小連携に焦点化して問う問題である。

問題2. 発達障害児の困難性は環境移行に伴い変化するが、特に、注意欠陥多動性障害およびアスペルガー症候群における困難性出現の発達の变化についての心理・病理学的知識を問う問題である。

問題3の（1）および（2）：年少期の成長発達にはあそびが大きく影響を与えるがゆえに、その環境を整備することは養育者及び教育者の責務である。本問題は、子どもの一般的な発達過程と、それを支え促す人的物理的環境について、特に認知発達と心理社会的発達に焦点化し問う問題である。